

コンテンツ標準化論

(単位数: 2)

担当教員:		仲林 清
必修/選択	選択	eラーニング関連の技術標準規格に関して学ぶ科目。eラーニングコンテンツの標準規格SCORMについて、その学習履歴・成績管理機能などの具体的な機能を含めて解説する。他に、コンテンツ検索のためのLOM(Learning Object Metadata)、教授学習設計のためのLD(Learning Design)、など関連する規格についても解説する。
開講年次	1前	
	1後	○
	2前	
	2後	◎
前提科目		学習支援情報通信システム論
評価の方法	[課題1] SCORMと標準化に関するレポート(15点) [1-1]技術標準化の意義に関するレポートを提出(第1回 5点) [1-2]SCORM技術の位置づけに関するレポートを提出(第2回 5点) [1-3] LOMの概要に関するテスト(第4回 5点)	
	[課題2]SCORMに関するレポート(35点) [2-1]具体的なSCORMコンテンツの分析, 改良を行ないレポートを提出(第5回 10点) [2-2]SCORM2004規格の要点をレポートにまとめ提出(第6回 10点) [2-3]SCORM2004の実習(第7回 10点) [2-4]SCORM認証制度の概略, 相互運用性上の課題などをレポートにまとめ提出(第8回 5点)	
	[課題3] LDに関するレポート(30点) [3-1]LDの概要に関するレポートを提出(第9回 10点) [3-2]アセスメントに関するレポートを提出(第10回 10点) [3-3]質保証に関するレポートを提出(第11回 10点)	
	[課題4] SCORMと標準化に関する各レポート(20点) [4-1]SCORMに関するレポートを提出(第13回 10点) [4-2]標準化に関するレポートを提出(第14回 10点)	
内容	第1回 eラーニングにおけるITと標準化	
	第2回 SCORMの意義と概要	
	第3回 LOM/LDの意義と概要	
	第4回 LOMの目的と構成	
	第5回 SCORMランタイム環境と学習履歴の管理(1)	
	第6回 シーケンシング(1)	
	第7回 シーケンシングの実際	
	第8回 SCORMにおける認証制度	
	第9回 LDの目的と構成	
	第10回 アセスメント	
	第11回 質保証	
	第12回 SCORMランタイム環境と学習履歴の管理(2)	
	第13回 シーケンシング(2)	
	第14回 工業製品における標準化の歴史と意義	
	第15回 まとめ	